

ミッションの 継続教育

「ミッション」の名で親しまれている北陸学院は、幼稚園から大学に継続する総合学園として、一人ひとりの賜物と向き合っています。本号では、学院の経営にも携わる北陸学院中学校・高等学校の堀岡満喜子校長に継続教育への思いを綴っていただきました。

歴史をつくる

47の力を育てる

北陸学院は1885年の創立以来、キリスト教に根ざした「人格教育」に力を注いできました。「確固とした不変の真理」を基盤に、時代と対話しながら自らを問ひ直すチャレンジを続けてきた学院です。誤った方向に進んでいると判断した時には、時代に対してNOと言うこともありましたが、また同時に、時代の変化に柔軟に対応する姿勢も重要であると考えるようになりました。

「賜物」を生かして

「使命」に生きる

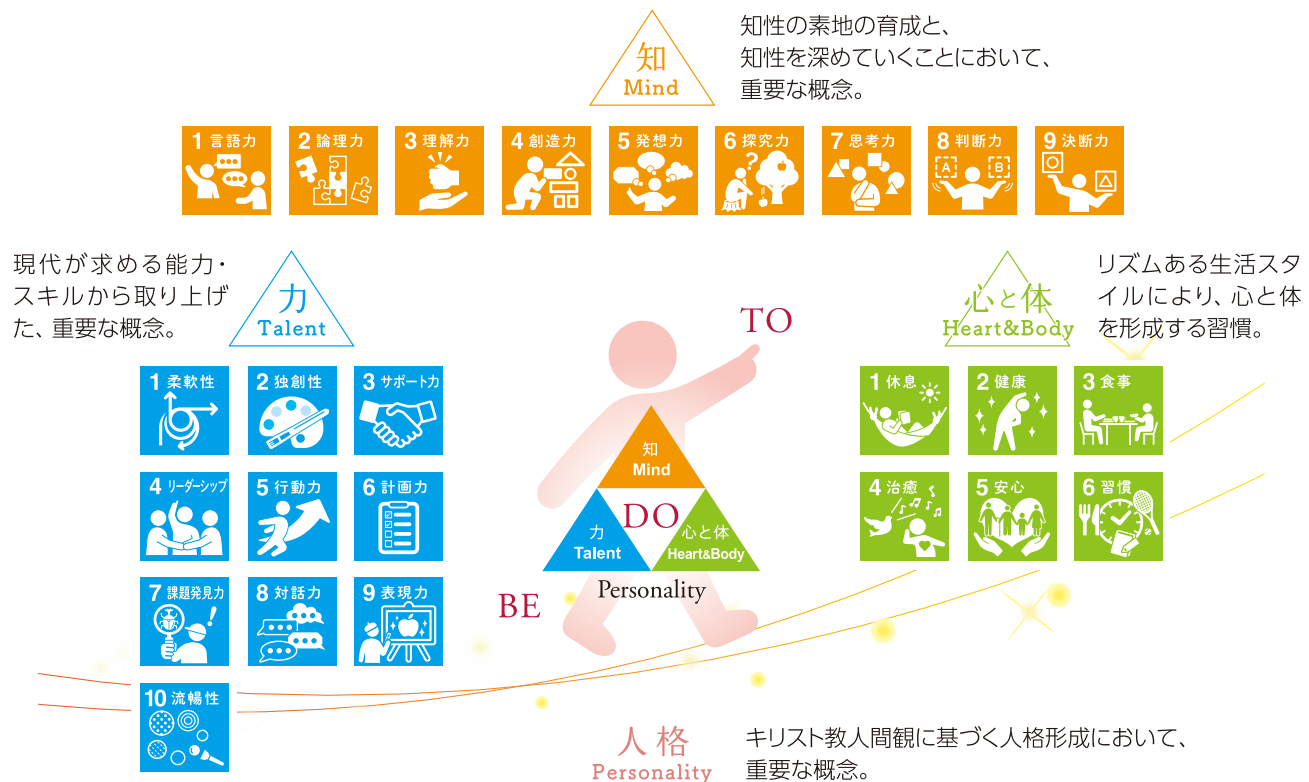
「北陸学院は何を大事にしているのか」と問われるなら、それはスクールモットー「Realize Your Mission」：あなたの使命を実現しよう」と答えます。本校は、どの生徒にも神から与えられた「賜物」があると考え、その賜物を生かすことで、一人ひとりのMission（使命）がRealizeする（現れ出てくる）ことを願っています。「賜物」と



北陸学院は1885年の創立以来、キリスト教に根ざした「人格教育」に力を注いできました。「確固とした不変の真理」を基盤に、時代と対話しながら自らを問ひ直すチャレンジを続けてきた学院です。誤った方向に進んでいると判断した時には、時代に対してNOと言うこともありましたが、また同時に、時代の変化に柔軟に対応する姿勢も重要であると考えるようになりました。

世界は今、未来を生きる人物に「21世紀型スキル」を求めています。これは予測不能な局面に対応できる力を言い、OECD（経済協力開発機構）のEducation in 2030 プロジェクトやSDGs（持続可能な開発目標）などが必要とされているスキルです。日本でもこれに基づ

継続教育の中で、わたしたちが育てる47の力



各アイコンの
紹介はこちら！

は、神から与えられたギフト（恵み）のことですから、実に多種多様。能力・才能・長所・短所などに限定せず、与えられた経験・出会い・環境などすべて受け取ってきた「恵み」です。

上のアイコンをご覧いただくと、「人格」の分野6番に「賜物」があります。このアイコンには、「大きさも形も違う賜物がそれぞれに与えられている。無駄にせず、これを磨き、育て、互いに仕え合うために生かして用いよう」という意味があります。たとえば同じ小さな部屋をもらっても、アレンジして楽しく暮らすこともできれば、投げやりになりゴミに囲まれてしまうこともあります。せっかくいただいた賜物ですから、これを生かして世界に喜びを広げる使命に用いていきたい。これが、本校のスクールモットーです。

各アイコンには、デザイナーさんのご協力を得て楽しく意味深いモチーフが描かれました。中世の教会のステンドグラスのように、絵を通して意味を理解できるようにと考えたからです。アイコンには大人だけでなく子どもが登場するものもあり、たとえば「人格」の19番「正義」は少年が犬に傘をかざすデ

Pick up



ザインで、弱く小さなものを守る心が正義の中にあることを表しています。

今この時代の中で いかに生きるか

一般的に学校では、教員の考える「正解」を生徒に伝える教育が行われてきました。一方キリスト教学校は、どちらかといえば元々、生徒自身が主体的に発見し、自由に思考する教育を大事にしています。本校は、キリスト教学校として今後、ますます、生徒の個性と主体性が自由に発揮され、そのユニークな発想や表現を大事にしていきたいと願っています。教師から生徒への一方通行の知識伝授だけではなく、難問であればあるほどに、問題提起して共に取り組み、考え、複雑な課題の中で一緒に悩んで突破口を探す。そのような授業や行事、部活動等の課外活動への取り組みを目指していきたいところです。

時代の新しい風向きの中で、型にはめ込む教授法からさらに自由になり、生徒自身が自らの羅針盤を手がかりに成長していく新しい教育を模索していきたいと思っています。新しい時代には、より開かれた発想力と創造力でアイデアを形にし、言葉で表現し、対話による闊達なコミュニケーションのとれるリーダーシップとサポート力を兼ね備えた実自由な人格が生まれてくることでしょう。そのためには、乳幼児期、児童期をどう過ごすかも重要です。本院の継続教育の中で、そうした力の育成に当たることもまた大変大きな意味を持っていると考えています。

「人ひとり」が大事と 声高らかに告げる

キリスト教に基づく人格教育は、「人ひとり」が大事と声高らかに宣言します。全体に、一人が埋没してはならないと考えているからです。「誰も取り残されない世界を目指す」というSDGsの精神にも通じるかもしれません。

これまでも「あなただからこそ、できることがある」と生徒には伝えてきました。他の人の目を気にせず、自分をしっかりと生きる。これは、悪しき個人主義的自己主張や自己権利の主張とは違います。自分の目でしっかりと見、知識と経験によって自分の頭で丁寧に考え抜いて、良いと信じる道を生きることが大事だと考えているのです。同調圧力に屈することなく、真実に隣人を愛する道を探していきたい。本校は、多様な生徒たち一人ひとりが、自らを彩り豊かに咲かせる舞台でありたいと願っています。



北陸学院中学校・高等学校 校長
堀岡 満喜子 / Makiko Horioka *Profile*

京都府出身。同志社大学神学部を卒業後、牧師やキリスト教学校で働く教務教師を養成する東京神学大学に進み、チャプレンとして活動。1998年に北陸学院中・高に教員として着任、2005年まで勤務。いったん家庭に入った後2013年に復職、宗教主事に着任しキリスト教教育に携わる。2017年より中学校・高等学校校長。

北陸学院を まるごとご紹介！

本院は、幼稚園から大学まで、子どもたちの発達段階に応じた人格教育を実践してきました。変わりゆく社会に必要な力を子どもたちが身につけていくため、教職員が日々丸となって考え、授業や学校生活の中で新たな取り組みを導入しています。

北陸学院幼稚園

Hokuriku Gakuin
Kindergarten

北陸学院第一幼稚園

住所／石川県金沢市三小牛町ハ1-1
電話／076-242-0209



北陸学院扇が丘幼稚園

住所／石川県野々市市本町5-6-23
電話／076-248-1501



あふれだす探究心と弾む身体―「遊び」に没頭する表情は輝きに満ち、「学び」へとつながっていきます。また、心と体を落ち着かせる礼拝は、情緒を安定させ、深く物事をとらえようとする資質を育てます。

北陸学院小学校

Hokuriku Gakuin
Elementary School

住所／石川県金沢市三小牛町イ11番地
電話／076-280-3860



本校を囲む自然環境は、すべて児童たちの研究材料。日々五感を働かせながら、たくさんの発見や驚きに出会います。人、自然、世界から学んだ多くの経験は、一人ひとりの持つ個性「この力」を引き出します。

北陸学院中学校

Hokuriku Gakuin
Junior High School

住所／石川県金沢市飛梅町1-10
電話／076-262-3012



キリスト教に基づく教育方針「勉強プラスもうひとつ」のもと、勉強だけではなく、生徒それぞれの「もうひとつ」に熱中できる環境を整えています。今しかできない数多くの経験は、生徒たちの確かな自信につながります。

北陸学院高等学校

Hokuriku Gakuin
High School

住所／石川県金沢市飛梅町1-10
電話／076-221-1944



校内外でのさまざまな経験を通して、生徒たちは大学などの進路や自分らしい生き方と真剣に向き合います。生徒の「なりたい姿」「実現したい未来」をイメージしつつ、難関大学への進学から就職まで幅広く対応し、最大限に支援します。

北陸学院大学・ 北陸学院大学短期大学部

Hokuriku Gakuin
University &
Junior College

住所／石川県金沢市三小牛町イ11 電話／076-280-3855



幅広い知識と視野を身につけ、社会の要請に応えられる知恵をもった人の育成を目指します。自分が輝くフィールドと、果たすべきミッションは何かを学生自身が考え、納得した上で進路選択ができるようサポートします。

Topics

Enjoy! ミッション

school event

幼稚園児から小学生、中学生、高校生、そして大学生まで、北陸学院で学ぶ全員が集まる総合学園ならではのイベント。大学生は幼稚園児や小学生に向けた企画を考え、運営する中でさまざまな経験を、中学生や高校生は大学での学びを体験できる模擬授業を通して自身のキャリア形成に役立てています。



月刊北國アクトス2022年6月号掲載記事